

平成 28 年 2 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日に当院で MRI 検査を受けた方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：MR laparoscopy による肝形態スコアを用いた肝硬変診断

研究期間：研究機関の長の許可日～平成 30 年 3 月 31 日

研究責任者：山梨大学 放射線医学講座 舟山 慧

当科では、平成 28 年 2 月 1 日から平成 28 年 11 月 30 日までの期間に、当院で MRI 検査を受けた患者さんを対象に、「MR laparoscopy による肝硬変の診断」について検討する研究を行います。この研究は、山梨大学医学部倫理委員会の審議に基づき、医学域長の許可を得て実施するものです。

【研究の目的と意義について】

肝生検が肝硬変を診断する検査として用いられています。しかし、少ない検体量で検査を行うため時に診断が出来ないことがあります。そうした場合には腹腔鏡検査により肝臓表面を観察して診断を行うことが出来ますが、全身麻酔が必要であり侵襲性が高いことが課題でした。肝臓 MRI 検査では肝特異的 MRI 造影剤（ガドキセト酸、以下 EOB）を用いることにより肝臓を明瞭に描出することが出来ます。EOB 造影 MRI 画像から得られる肝臓の立体画像を観察する（MR laparoscopy）ことで、腹腔鏡検査のように肝硬変を診断できるのではないかと期待されています。

【研究の方法について】

対象となる患者さんは、当院で EOB 造影 MRI 検査を受けられた患者さんで検査の前後 3 年以内に肝臓の生検検査を受けられた患者さんです。対象年齢は、20 歳以上とします。ただし、体内金属を有する患者さん、担当医師が不相当と判断した患者さんは除外します。

この研究に必要な MRI 検査のデータや患者さんの背景は、患者さんのカルテから取り出しますので、患者さんにあらためてお願いすることはありません。

主任研究者は試験等実施に係わる文書・データを保存し、所定の期間（研究発表後 2 年）後に個人情報に注意して破棄します。データはワークステーション内に保存されます。データへのアクセスにはパスワード入力が必要であり、セキュリティ面でも保護されます。

【個人情報の保護について】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報を利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時にすでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮

なく担当医師にご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は以下の連絡先までお申し出ください。

【問い合わせ等の連絡先】

山梨大学 放射線医学講座

医員 舟山 慧

電話 055-273-1111（内線：2382）

（対応可能時間 平日 9：00～17：00）